



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	202,146	7.8	6,265	3.8	6,603	4.7	3,994	10.2
30年3月期第2四半期	187,456	△0.0	6,036	6.6	6,309	7.5	3,625	14.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 5,044百万円(14.5%) 30年3月期第2四半期 4,406百万円(35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	79.64	—
30年3月期第2四半期	71.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	257,539	101,112	38.3
30年3月期	285,181	102,354	35.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 98,678百万円 30年3月期 99,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	64.00	64.00
31年3月期	—	0.00			
31年3月期(予想)			—	64.00	64.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	3.4	17,500	△4.2	17,800	△6.0	10,500	1.4	209.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	50,834,700株	30年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	969,889株	30年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	50,159,194株	30年3月期2Q	50,599,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成31年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得による影響を反映させております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な企業収益を背景に雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、FRBによる利上げや、為替不均衡、米国と中国の貿易摩擦の高まりなど、世界経済の不確実性から、先行きに関しては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、4月より診療報酬・介護報酬のダブル改定が実施され、特に医療材料の償還価格、薬価が大幅に引き下げられました。また、2025年に向けて将来の医療提供体制を定めた「地域医療構想」が本年3月迄に全都道府県で策定され、地域包括ケアシステムの構築等、地域における医療・介護・福祉を切れ目なく提供する体制の構築が進みつつあります。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、調剤報酬改定に伴い、調剤薬局事業が厳しい状況で推移したものの、トータルパックプロデュース事業における大型プロジェクト案件の一部が前倒しで計上されたこと、ライフケア事業における入居者数の積み上がりが堅調に推移したこと等により、概ね計画通り推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は202,146百万円（前年同四半期連結累計期間比7.8%増）、営業利益は6,265百万円（前年同四半期連結累計期間比3.8%増）、経常利益は6,603百万円（前年同四半期連結累計期間比4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,994百万円（前年同四半期連結累計期間比10.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、下期に偏重している病院完成案件の一部が期初計画より前倒しで計上される一方で、メーカー系については前期と比較して低調な業績となりました。

この結果、売上高は37,736百万円（前年同四半期連結累計期間比19.3%増）、セグメント利益（営業利益）は2,667百万円（前年同四半期連結累計期間比0.2%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期における新規SPD施設立ち上げが順調に推移したこと等により概ね計画通り進捗いたしました。

この結果、売上高は137,553百万円（前年同四半期連結累計期間比6.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1,713百万円（前年同四半期連結累計期間比8.5%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、介護報酬改定はあったものの、経営効率化やキャラクターを利用した入居促進策等により、期初より入居者数が積み上がり、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は11,876百万円（前年同四半期連結累計期間比6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は860百万円（前年同四半期連結累計期間比111.8%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の出店計画や継続的な経営効率の改善策を実施したものの、調剤報酬改定の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は12,350百万円（前年同四半期連結累計期間比1.8%減）、セグメント利益（営業利益）は953百万円（前年同四半期連結累計期間比29.2%減）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営、理化学機器の販売が共に概ね計画通り進捗いたしました。また、セキュリティサポート会社の業績が前期に引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,628百万円（前年同四半期連結累計期間比13.2%増）、セグメント利益（営業利益）は252百万円（前年同四半期連結累計期間比76.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は257,539百万円となり、前連結会計年度末と比べて27,642百万円減少いたしました。その主な要因は、投資有価証券が6,317百万円、商品及び製品が1,651百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が25,441百万円、現金及び預金が4,394百万円、土地が1,546百万円減少したこと等によるものであります。

負債は156,427百万円となり、前連結会計年度末と比べて26,399百万円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が4,350百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が20,976百万円、電子記録債務が3,355百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は101,112百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,242百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が3,994百万円、その他有価証券評価差額金が937百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が3,238百万円減少し、自己株式を2,999百万円取得したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は38.3%（前連結会計年度末比3.3ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは2,841百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比7,177百万円収入減）となりました。これは主に、仕入債務が24,331百万円減少し、法人税等を5,045百万円支払った一方、売上債権が26,329百万円減少し、税金等調整前四半期純利益を6,655百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,146百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比1,874百万円支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が1,611百万円あった一方、投資有価証券の取得による支出が4,934百万円、有形固定資産の取得による支出が558百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,201百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比2,135百万円支出増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が7,000百万円あった一方、配当金の支払額が3,238百万円、自己株式の取得による支出が2,999百万円、長期借入金の返済による支出が2,379百万円、短期借入金の純減少額が1,400百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて4,455百万円減少し、54,332百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成30年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,644	55,249
受取手形及び売掛金	99,090	73,649
電子記録債権	3,427	2,539
リース投資資産	3,873	3,770
商品及び製品	13,076	14,728
仕掛品	1,269	2,024
原材料及び貯蔵品	605	829
その他	10,547	7,953
貸倒引当金	△86	△103
流動資産合計	191,448	160,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,647	19,249
土地	15,556	14,010
建設仮勘定	4,428	4,622
賃貸不動産(純額)	13,395	13,359
その他(純額)	2,743	2,628
有形固定資産合計	55,770	53,870
無形固定資産		
のれん	10,650	9,936
その他	1,129	1,078
無形固定資産合計	11,780	11,015
投資その他の資産		
投資有価証券	7,862	14,180
長期貸付金	9,870	9,697
その他	10,984	10,663
貸倒引当金	△2,536	△2,529
投資その他の資産合計	26,181	32,012
固定資産合計	93,732	96,898
資産合計	285,181	257,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,716	67,740
電子記録債務	21,786	18,430
短期借入金	2,970	1,570
未払法人税等	4,745	2,248
賞与引当金	1,966	1,949
その他	17,740	14,791
流動負債合計	137,925	106,730
固定負債		
長期借入金	36,765	41,116
退職給付に係る負債	2,706	2,766
資産除去債務	619	624
その他	4,809	5,189
固定負債合計	44,900	49,696
負債合計	182,826	156,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,948	23,948
利益剰余金	58,374	59,130
自己株式	△448	△3,447
株主資本合計	97,428	95,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,596	3,534
為替換算調整勘定	△92	△1
退職給付に係る調整累計額	△52	△39
その他の包括利益累計額合計	2,451	3,493
非支配株主持分	2,474	2,433
純資産合計	102,354	101,112
負債純資産合計	285,181	257,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	187,456	202,146
売上原価	167,116	181,617
売上総利益	20,340	20,528
販売費及び一般管理費	14,303	14,263
営業利益	6,036	6,265
営業外収益		
受取利息	163	140
受取配当金	86	95
負ののれん償却額	116	116
持分法による投資利益	—	21
貸倒引当金戻入額	1	5
その他	167	142
営業外収益合計	535	522
営業外費用		
支払利息	123	129
持分法による投資損失	1	—
為替差損	17	2
その他	119	52
営業外費用合計	261	184
経常利益	6,309	6,603
特別利益		
固定資産売却益	2	58
その他	0	—
特別利益合計	2	58
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	10	0
投資有価証券評価損	27	5
その他	4	—
特別損失合計	46	6
税金等調整前四半期純利益	6,265	6,655
法人税、住民税及び事業税	2,372	2,399
法人税等調整額	208	329
法人税等合計	2,580	2,728
四半期純利益	3,684	3,926
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△68
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,625	3,994

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	3,684	3,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	740	937
為替換算調整勘定	△21	167
退職給付に係る調整額	2	12
その他の包括利益合計	721	1,117
四半期包括利益	4,406	5,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,353	5,036
非支配株主に係る四半期包括利益	52	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,265	6,655
減価償却費	1,215	1,254
のれん償却額	846	829
負ののれん償却額	△116	△116
持分法による投資損益(△は益)	1	△21
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46	△17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	52	82
受取利息及び受取配当金	△249	△236
支払利息	123	129
売上債権の増減額(△は増加)	26,634	26,329
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,443	△2,631
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,814	△24,331
リース投資資産の増減額(△は増加)	91	103
その他	685	△259
小計	14,244	7,778
利息及び配当金の受取額	246	238
利息の支払額	△122	△130
法人税等の支払額	△4,348	△5,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,019	2,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△136	△121
定期預金の払戻による収入	178	106
有形固定資産の取得による支出	△4,651	△558
有形固定資産の売却による収入	3	1,611
無形固定資産の取得による支出	△75	△140
短期貸付けによる支出	△22	△267
短期貸付金の回収による収入	20	—
長期貸付けによる支出	△2	—
長期貸付金の回収による収入	177	155
投資有価証券の取得による支出	△5	△4,934
投資有価証券の売却及び償還による収入	101	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,609	—
その他	△0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,020	△4,146

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	△1,400
長期借入れによる収入	7,300	7,000
長期借入金の返済による支出	△4,755	△2,379
自己株式の取得による支出	—	△2,999
配当金の支払額	△3,035	△3,238
非支配株主への配当金の支払額	△46	△48
リース債務の返済による支出	△123	△130
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,066	△3,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,928	△4,455
現金及び現金同等物の期首残高	48,661	58,787
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,590	54,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づき、普通株式734,300株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,447百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,629	129,756	11,168	12,579	185,134	2,322	187,456	—	187,456
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	720	532	91	1,192	2,537	42	2,579	△2,579	—
計	32,349	130,289	11,260	13,772	187,671	2,364	190,036	△2,579	187,456
セグメント利益	2,662	1,578	406	1,346	5,994	143	6,137	△101	6,036

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△101百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△101百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	37,736	137,553	11,876	12,350	199,517	2,628	202,146	—	202,146
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	944	599	92	911	2,548	118	2,667	△2,667	—
計	38,681	138,153	11,969	13,261	202,066	2,747	204,813	△2,667	202,146
セグメント利益	2,667	1,713	860	953	6,195	252	6,447	△182	6,265

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△182百万円には、セグメント間取引消去△41百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。